

高品質・安定生産に利用できる新技術

ウイルスフリー「大将季」の品種導入

果樹部
栽培研究室

ウイルスフリー「大将季」と「不知火」M16Aの摘果前の果実数と樹冠容積の比較

技術ポイント

■「不知火」M16Aと比較して、ウイルスフリー「大将季」は、あばれ過ぎることはなく、着花量と果実数に問題はない

活用法

○単価の高い「大将季」への改植で、所得向上が可能である

	着花量	果実数 (個/m ³)	樹冠容積 (m ³)	
			樹齢3年生	樹齢4年生
大将季	中	80	0.7	2.3
「不知火」M16A	中	70	0.4	1.9

不知火「大将季」の収穫後の品質向上技術

果樹部
栽培研究室

湿度50%管理による果実の糖度上昇

技術ポイント

■果実を収穫後、湿度の低い貯蔵庫内で管理することで糖度が向上する
■湿度を低くするには、市販の除湿機でも可能である

活用法

○収穫後、短期間で糖度向上が可能である

湿度	糖度(Brix)	
	収穫時	10日後
50%	12.3	13.0
85%	12.2	12.3



収穫後の果実と除湿機

注1. 貯蔵温度は10°C

ブドウ「ピオーネ」の着色向上技術

果樹部
北薩分場

剥皮あり 剥皮なし



ピオーネ



環状剥皮
満開30~35日後
に主幹部を幅2cm
で処理

技術ポイント

■夏季の高温下でも、環状剥皮により濃い紫黒色に着色
■商品化率が2割から9割に向上する

活用法

○「ピオーネ」等で8月出荷の作型

鹿児島県農業で活用いただきたい 新品種・新技術

農業開発総合センターでは、本県の農業振興に必要な新たな品種や安心・安全で高品質・低コストな生産技術の開発などを行っています。

この資料では、当センター等で開発した品種・技術等のうちから、果樹栽培に是非活用していただきたい成果を紹介します。

平成26年11月

鹿児島県農業開発総合センター

【お問い合わせ】 農業開発総合センター企画調整部 (TEL 099-245-1118)
最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課(農政普及課など)

農業開発総合センター

検索

本県に適した常緑果樹品種

橙色が濃い不知火品種 大将季(だいまさき)

果樹部
栽培研究室



果実断面



大将季(左) 不知火(右)

特性

- 「不知火」の枝変わり
- 「不知火」より果皮及び果肉の橙色が濃い

栽培ポイント

- ◆加温ハウス栽培では、果皮色・果肉色の特徴が出やすい

【H18鹿児島県農家登録】

果肉色が濃い極早生温州品種 かごしま早生

果樹部
栽培研究室



果実断面



着果状況

特性

- 果肉色が濃く、糖度が高い
- 収穫期は9月中旬～10月上旬、浮皮が少ない

栽培ポイント

- ◆高品質果実の安定生産には、透湿性シートを用いたマルチ栽培が不可欠である

【H13鹿児島県登録】

す上がりが少ないポンカン品種 薩州

果樹部
栽培研究室



果実断面



着果状況

特性

- 果実はへん平で玉揃いが良く、糖度が高い
- 結実性が良く、す上がりや水腐れが少ない

栽培ポイント

- ◆摘果不足になると隔年結果しやすいので、摘果による適正な結実管理が必要である

【H9鹿児島県登録】

大果で食味良好なビワ品種 はるたより

果樹部
栽培研究室



果実断面



施設栽培の果実

特性

- 熟期は「長崎早生」よりやや遅い
- 「長崎早生」より大果で、食味が良い

栽培ポイント

- ◆露地栽培では寒害を受けやすく、果皮障害の発生が多いので施設栽培に向く

【H26長崎県登録】

温暖化に対応した落葉果樹品種

着色が良く糖度が高い赤色ブドウ品種 クイーンニーナ

果樹部
北薩分場



クイーンニーナ

安芸クイーン
(既存品種)

特性

- 既存の赤色品種に比べ着色が優れ、裂果が少ない
- 香りがあり糖度が高いため、食味評価は他の品種に比べ高い

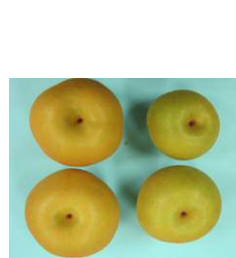
栽培ポイント

- ◆環状剥皮により赤色がさらに向上する
- ◆花穂整形や無核処理法などの栽培方法は「ピオーネ」に準じる

【H23農研機構果樹研登録】

暖冬でも安定生産できるナシ品種 凜夏(りんか)

果樹部
北薩分場



凜夏

幸水



暖冬で花数が減少

凜夏

幸水

特性

- 盆前の高単価期に収穫
- 着花数が多く、安定して高収量
- 「幸水」に比べ、大玉で糖度は同程度に高く、食味が良い

栽培ポイント

- ◆ナシ栽培地域における早生品種として活用できる

【農研機構果樹研登録申請中】

環境にやさしい果樹病虫害防除技術

果樹部
環境研究室

マンゴーのチャノキイロアザミウマ新規系統の発生と防除対策

新規系統(C系統)を19市町村52地点で確認(H24)



スワルスキーカブリダニとその市販製剤

技術ポイント

- 新規系統はネオニコチノイド系薬剤の効果が低い

対策

- 天敵のスワルスキーカブリダニを活用すると有効である
- 最低気温15℃前後(出蕾始め期)の放飼で効果が安定する

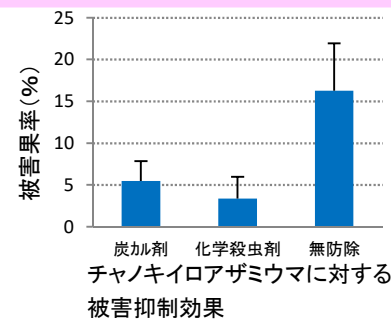


マンゴーの被害果

露地温州ミカンの物理的防除の試み



炭酸カルシウム剤(ホワイトコート)を散布した温州ミカン



技術ポイント

- 炭酸カルシウム剤(ホワイトコート)をチャノキイロアザミウマ発生盛期(5月下旬, 6月中, 7月上旬)に2~3回散布
- 果実品質には影響しない
- ミカンハダニに有用な土着天敵を保護できる
- 極早生温州では、収穫時に果実の一部に白色の汚れが残る可能性があるため注意する